イオン
防疫プロトコル

２０２０年　６月３０日発行
１１月１１日改定
２０２２年　６月３０日改定
２０２３年　３月　６日改定
２０２３年　５月　１日改定
２０２４年　３月　１日改定
２０２４年１０月　１日改定
２０２６年　６月　１日改定

＜監修＞
医師・医学博士・前世界保健機関（WHO）
食品安全・人畜共通感染症部長
イオン㈱アドバイザー　宮城島　一明
医師･医学博士･感染症対策コンサルタント　和田　耕治
歯科医師・医学博士　堀口　逸子

１．本プロトコルの目的

イオンは、「お客さま第一」を実践し、絶えず革新し続ける企業集団として地域のお客さまとともに地域社会の発展と生活文化の向上に貢献することを目指してまいりました。

新型コロナウイルスの感染症をはじめ、様々な感染症が流行している中で、イオンは、お客さまの安全を第一に考え、一時的な取組みにすることなく、地域のお客さまとともに本プロトコルを継続的に実行してまいりました。

今後も、新興・再興感染症などへの備えも怠らない防疫が、生活の一部となる社会を実現することで、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の発展に寄与してまいります。

イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により防疫対策を引き続き実行します

イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します

イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築します

イオンは、感染リスクを充分に検討し、現状のリスクに応じた対策を継続して実施します

これらの施策により、お客さまにご不便をおかけすることもございますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

２．防疫が生活の一部となる社会の実現にむけて

国内では、２０２３年５月８日（月）新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同等の５類に見直され、重傷者数・死者数は大きく減ったものの、いまだに日本国内で年に２回程度の流行を繰り返しています。

イオンは、これまで新型コロナウイルス感染に対する「完全な予防策」が無い中、様々な防疫の取り組みを組み合わせて実行することで感染リスクの低減を図ってまいりました。

今後も、これまで蓄積したデータや国内の流行状況、専門家の知見をもとに、お客さまと従業員に対するインパクトの大きい感染症に対して「イオン防疫プロトコル」の目的は変更することなく、必要な対策を導入または継続します。国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所や世界保健機関の発表する感染症の特徴や抗体の保有の有無などのデータを踏まえ、病原性や感染の発生状況に対し、最も適切な施策を選ぶことで地域のお客さまや従業員の感染リスクを低減し防疫が生活の一部となる社会の実現に努めてまいります。

＊以下に記述する感染予防の施策は、飛沫・エアロゾルを介する気道感染症（新型コロナウイルスを含む）を念頭に置いたものですが、季節性インフルエンザなど他の

感染症予防にも一定の効果があります。特に手洗い、アルコールによる手指消毒は、感染症だけでなく、食中毒の予防に有効です。

３．感染予防の施策について

（１）体調の把握と管理

体調の把握と管理は、健康な日常生活を営む上で最も重要なポイントです。イオンは、従業員の体調を把握し管理をします。

（２）換気の徹底

空気の滞留を防ぐことは、飛沫やエアロゾルを介する感染を低減する効果があることから、混雑時において空気が滞留する場所には、サーキュレーター等を設置することで空気の流れを作り換気を促進します。また、換気状況を確認するため混雑する場所においては、二酸化炭素濃度計（目標値 800ppm 以下）にて定期的に計測します。

（３）マスク等による感染リスクの低減

お客さまへの不織布マスク着用のお願いは、国の方針に沿って検討します。然しながら感染症拡大時や混雑する場所では、不織布マスク着用のお願いをする場合がございます。従業員のマスク着用は希望する従業員の意向を尊重します。

イオンは、未来に向けて笑顔でお客さまをお迎え出来るよう全従業員で防疫対策を実行してまいります。

（４）ワクチン接種の機会提供

イオンは、従業員のワクチン接種に関して、接種が可能となる様々な機会、情報を提供するよう努めます。

４．具体的取り組み

（１）体調の把握と管理

＜従業員の取り組み＞

① 体調管理

毎日出勤前に体調管理チェックを実施します。

発熱、咳、のどの痛み、吐き気・嘔吐、下痢のような感染症を疑う症状のある従業員は出勤しません。

② 従業員は、企業が提供するワクチンの接種を受けるよう検討します。

（２）換気の徹底

＜施設の取り組み＞

① ショッピングセンター（ＳＣ）およびイオンの施設の多くは、エアコンとは別に機械換気システムを備え一定の割合で施設内の空気が入れ替わるように外気を取り込んでいます。混雑時においては空気の滞留を防ぐためサーキュレーター等で常に空気が流れる環境をつくります。

② フードコート・レストランゾーン

食事や会話を楽しむフードコート・レストランゾーンは、飛沫感染やエアロゾル感染のリスクを低減するため、高性能フィルターを完備した空気清浄設備を設置しています。また、混雑時において空気が溜まる場所には、サーキュレーター等で空気の流れをつくります。

（3）手洗い・手指消毒・マスク等による感染リスクの低減

＜従業員の取り組み＞

① 接触感染防止のために必要な頻度で手洗いと手指の消毒を実施します。

② マスクの着用については、国の方針に沿った検討を行い、希望する従業員の意向を尊重します。

＜施設の取り組み＞

① お客さまの手指消毒が可能なように、必要器材を食品売場入口等に設置しています。

② 従業員による拭き上げ清掃は定期的に実施します。またフードコート・イートインコーナーにおいては、お客さまもご利用できるようにアルコールとペーパータオルを設置します。

③ 自動水洗、エアータオルなど手洗い設備の充実に努めます。

5．お客さまへ感染防止策へのご協力のお願い

（1）体調がすぐれない場合はご来店なさらずに、ご利用可能な宅配サービスをご利用になることをお勧めします。

（2）食品売場入口等に手指の消毒器材を設置しています。
また、自動水栓の手洗い設備やエアータオル等も積極的にご利用ください。

（3）地域の感染状況により、混雑する場所での不織布マスク着用をお願いする場合がございます。

6．検証について

イオンは、防疫プロトコルを地域のお客さまと共有してまいります。

また、専門家からのアドバイス、科学的根拠とデジタルの活用により、自社内の感染症対策の取り組みに対し、継続的なモニタリングと検証を実施します。感染防止策をより実効性の高いものすることで「安全・安心」なショッピングセンターの構築に努めてまいります

以上